



災害を乗り越えて生まれた絆を
しっかりと、大切に、未来に紡ぐ



特定非営利活動法人
宇和島NPOセンター
代表理事 谷本 友子 さん

平成30年7月豪雨災害を機に「中間支援組織」として立ち上げられた宇和島NPOセンターの代表として、さまざまなイベントや相談対応などを行っています。



各地域に出向き、困りごとの相談に対応します

宇和島NPOセンターは、立ち上げ以降さまざまな活動に取り組み、その役割を果たしてきました。地域の個人・企業・団体などが集まり問題解決に向けて話し合う「牛鬼会議」は、被災直後から継続的に開催しています。災害支援としては、被災者や単身高齢者を訪問し困りごと相談に対応したり、全国の高校生をオンラインでつなぎ災害について考える「BOUSAIZEMINARU」や、体験型イベントを通じて防災について学ぶ「うわじま防災BOX」などを開催してきました。これらを継続しながら、南海トラフに備え四国



毎年7月7日に行っている「線香花火ナイト」

4県で連携する仕組みづくりも検討しています。また、市内で活動する団体に対しては、企画・運営のサポートや、勉強会の開催などの支援を行っています。企画によっては、より効果的な取り組みとなるよう団体同士をつなぐ役割も担っています。2月5日(日)には、これらの1つの結果ともいえる「第1回NPOまつり」が開催されます。谷本さんは「1人ではできないことも助け合えばできる。そのきっかけづくりとして、できることをやっていきたい」とこれからも丁寧な絆を未来へ紡ぎ続けます。